MDGsフォローアップ会合

平成23年５月
外務省国際協力局

ミレニアム開発目標（MDGs）とは

2000年９月に採択された「国連ミレニアム宣言」と，1990年代に開催された主要な国際会議などで採択された国際開発目標を統合し，一つの共通の枠組みとして2001年にまとめられたものが「ミレニアム開発目標」（MDGs）。

MDGs：８つの目標の下，21のターゲットと60の指標を設定。1990年を基準年として2015年が達成期限。

＊目標１．極度の貧困と飢餓の撲滅

＊目標２．初等教育の完全普及の達成

＊目標３．ジェンダー平等推進と女性の地位向上

＊目標４．乳幼児死亡率の削減

＊目標５．妊産婦の健康の改善

＊目標６．HIV／エイズ，マラリア，その他の疾病のまん延の防止

＊目標７．環境の持続可能性確保

＊目標８．開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

ミレニアム開発目標（MDGs）国連首脳会合

MDGsの課題：一定の成果はあるが，進捗は一様でない。
地域ではサブサハラ・アフリカ及び南アジア，分野では教育（MDG2/3）及び保健分野（MDG4/5/6）などにおいて目標が不達成見込み。さらなる努力が必要。

2010年９月のMDGs国連首脳会合

○首脳レベルで開発課題を議論（先進国の資金コミットメントを含む）
→国際社会の関心，政治的モメンタムの高まり。

○今後の行動計画も含めた国連成果文書の発出
→今後取り組むべき道筋の提示。
ただし，総花的，具体的手法の探求に至らず。

日本の貢献　「菅コミットメント」表明

○保健及び教育分野で2011年からの5年間で50億ドル，35億ドルの支援
→開発分野の主要なプレーヤーであることを印象付ける。

○MDGs国連首脳会合をフォローアップする国際会議の開催を表明。
「（MDGs国連首脳会合をフォローアップするため）日本は，政府のみならず，国際機関やNGOなどの幅広い関係者の皆様の連携強化のため，来年，日本で　国際会議を開催することを提案します。（MDGs国連首脳会合　菅総理演説）」
→MDGsに関連する国際社会の議論を主導する決意を示す。

６月２－３日に東京でMDGsフォローアップ会合を開催し，残された5年間で追求すべき真に効果的な手法につき深く議論する場を提供

MDGsフォローアップ会合の議論の内容(案)

―MDGsの達成を目指して:人間の安全保障と衡平な開発の実現―

2015年までのMDGs達成に向け,
幅広い関係者間のグローバルな対話を通じ,
MDGs国連首脳会合の成果と具体的かつ効果的な行動との間の橋渡しをする

✓**国際的関心の維持・強化**
→MDGs国連首脳会合の政治的モメンタムを維持・強化するため,閣僚級で開催。

✓**格差を是正する形でのMDGs達成の追求**
✓**グッド・プラクティスの共有**
→MDGsで優れた実績のある国,国際機関を招き,人間の安全保障及び衡平性(Equity)の観点から,掘り下げて議論。(保健,教育,実施ギャップの解消)

✓**新興国の関与**
✓**民間活力との連携**
→本会合に招待し,主体的な取組に取り込む。

✓**2015年以降に向けた議論**
→会合の場及び成果文書において,国際社会に先駆けて議論をキックオフ(MDGsの達成と持続を保証する経済成長へ焦点を当てる。)。

MDGsフォローアップ会合プログラム（案）

１日目：６月２日（木）

9:20-10:10 **開会式**

10:10-11:10 **本会合１** MDGsの達成を目指して:
人間の安全保障と衡平な開発の実現

11:20-12:50 **昼食会**

12:50-15:20 **分科会** ①保健及び関連分野
②教育及び関連分野

15:30-18:00 **分科会** ③実施ギャップの解消:
国，コミュニティ中心の
アプローチ

共催

日本政府 & UNDP ユニセフ 世界銀行 JICA

２日目：６月３日（金）

9:30-12:00 **分科会** ④持続的，包括的かつ
衡平な経済成長のため
のパートナーシップ

12:10-13:40 **本会合２**
閉会の辞

会場:三田共用会議所（予定）